



2020年に向けた調布市アクション&レガシープラン2018

平成30年3月

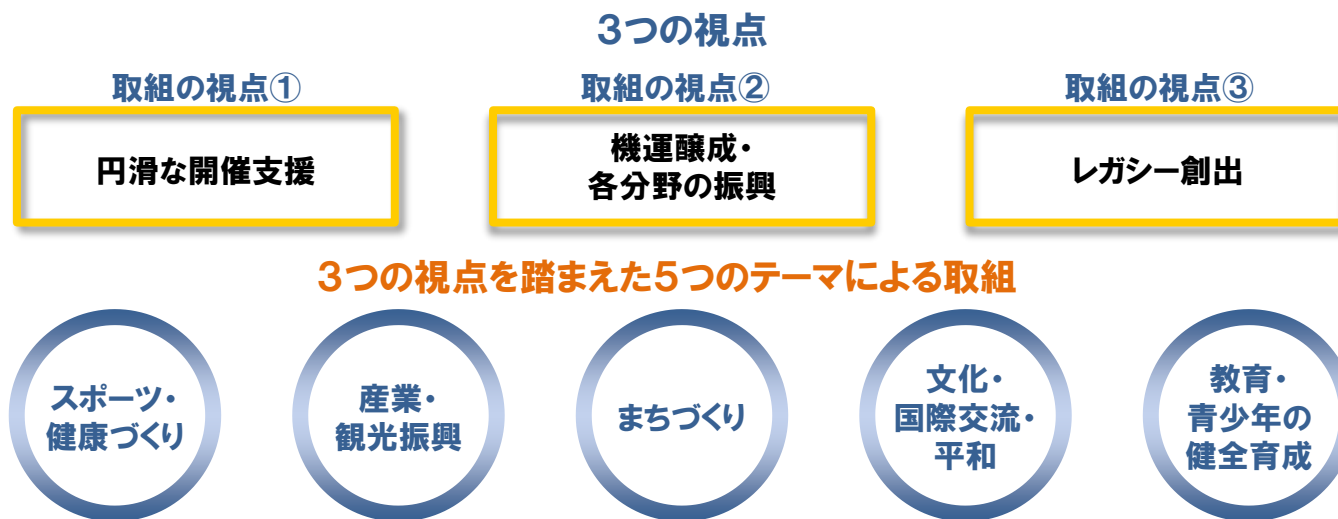


第1章 総論	p1
第2章 5つのテーマとレガシー創出に向けた取組	p6
第3章 プランの実現に向けて	p11
附録 大会までのロードマップ	p12

○2020年に向けた調布市の取組方針の具現化を図り、多様な主体と連携した様々な角度からのアクションを推進していくことで、大会の準備段階から開催後にわたり長期的・継続的に東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019により享受できる有形・無形のレガシーを創出し、調布のまちの更なる発展と多摩地域全体の振興につなげる。

◆2020年に向けた調布市の取組方針(平成28年7月策定)

- 世界最大級のスポーツイベントが、2年連続で調布市において開催されることは、とりわけ次代を担う子どもたちにとって、スポーツの役割の重要性や平和の尊さを実感するとともに、明るい希望と夢を抱いて世界に目を開く絶好の機会となります。
- 大会を契機として、基本計画や総合戦略と連動した様々な角度からの取組を、多様な主体と連携・協働し、市の諸施策における効果と有形・無形のレガシーを創出し、**調布のまちの更なる発展**と魅力の向上、**多摩地域全体の振興**につなげていきます。



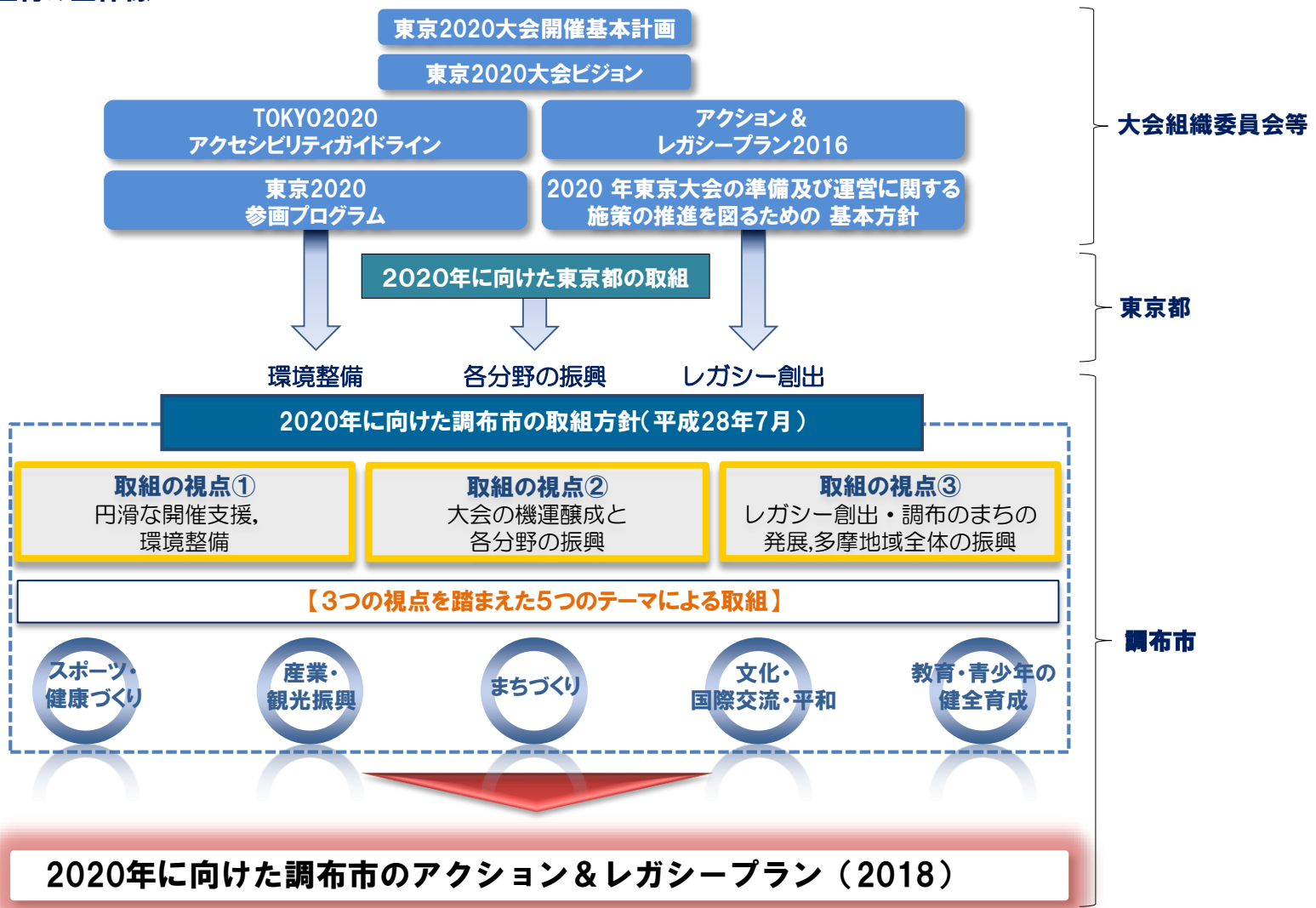
◆2020年に向けた調布市アクション&レガシープラン

○東京2020大会と、その前年の2019年ラグビーワールドカップに向けた調布市の取組について、東京2020組織委員会のアクション&レガシープランと連動させた取組を「2020年に向けた調布市のアクション&レガシープラン」として策定し、「2020年に向けた調布市の取組方針」の具現化を図ります。

第1章 総論 ~プランの位置付け~

○アクション&レガシープランの策定に当たっては、調布市基本計画や総合戦略はもとより、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会をはじめ、国や東京都の関連計画とも連動させ、近隣市、関係団体など多様な主体と連携・協働しながら、レガシー創出につなげていく。

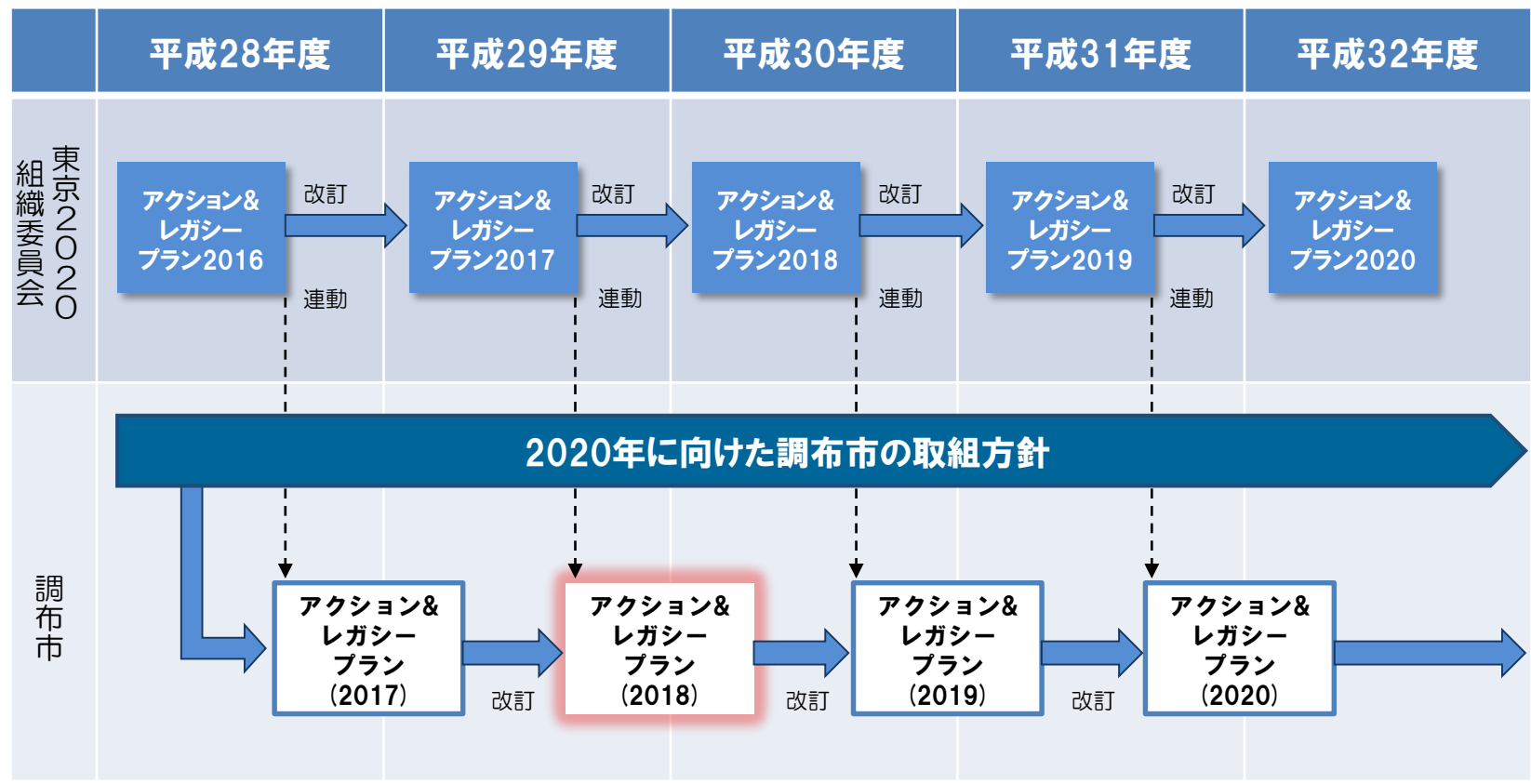
<プランの位置付け全体像>



第1章 総論 ～プランの策定・運用～

○大会組織委員会のアクション&レガシープランと連動した、調布市のプランを策定・運用する。

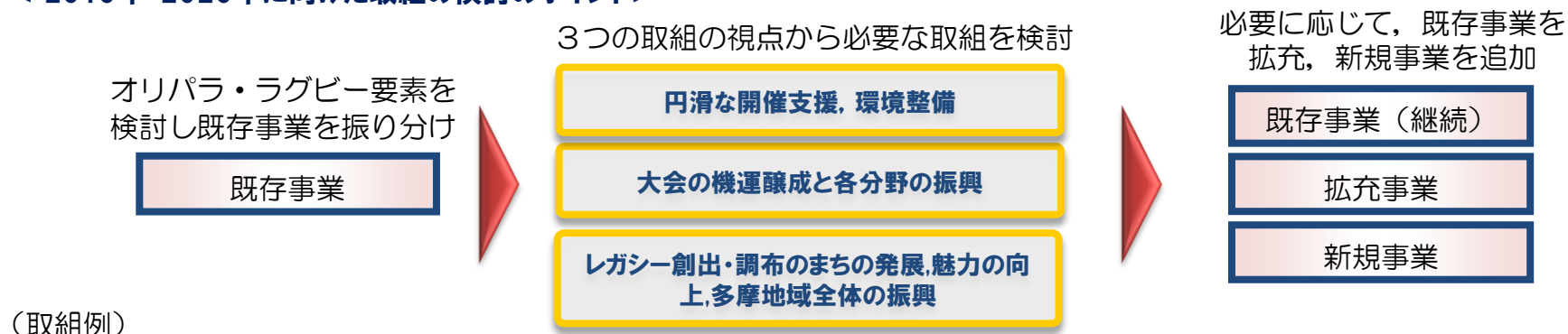
<取組方針の具現化に向けた「アクション&レガシープラン」の策定と運用>



分野	主なアクションの例（アクション&レガシープラン2016から追加されたアクションを中心として）
スポーツ・健康	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブ、健康運動指導士等、エビデンスのある健康づくりのための運動プログラム（貯筋運動等）を連携させ、地域でスポーツ・健康づくり・介護予防を横断する継続的・効果的な健康・体力づくり拠点の推進 子供の運動習慣向上のため、放課後子供教室や幼稚園での運動遊びプログラムの実施及び指導体制の拡充 部活動、トレーナー、健康運動指導士、理学療法士の配置による子ども・学生の運動器管理 アウトリーチ型（主催者が出向いて行く）の参加者募集によるスポーツ未実施者のスポーツ・レクリエーション活動への参加促進と継続 高齢者層の健康づくりやスポーツの楽しみ方の発信、アクティブエイジングの提唱
街づくり・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 都市鉱山を活用した入賞メダルの製作（「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」） わかりやすいごみ分別ラベル作成の留意点を整理・取りまとめ。更に試行ラベルの効果を検証 熱中症予防情報の発信に向けた準備 公共調達等を通じたライフ・ワーク・バランス等の推進
文化・教育	<ul style="list-style-type: none"> アーティストが様々な背景を持った人々との交流を通じて、新たな作品等を生み出していくアートプログラムである「TURN」を実施 全国の障害者の作品展示や、バリアフリー映画の上映など、障害の有無に関わらず体験できるイベントを「障害者芸術・文化祭」で実施 芸術活動を行う障害者やその家族、福祉事業所等で障害者の芸術活動の支援を行う者を支援するモデル事業を実施 地域のイベントや学校の運動会等の場におけるオリンピック・パラリンピックの競技体験
経済・テクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人の属性情報・行動履歴等の事業者間での活用を可能にするプラットフォームの構築とそれら情報を活用した高度で先進的なサービス、決済等を体験できる環境を実現 東京2020大会等を契機とする様々な調達情報などを提供する「ビジネスチャンス・ナビ2020」を活用し、全国の中小企業の受注機会の拡大を支援 外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）の周知・浸透 訪日外国人のための救急車利用ガイド（多言語版）の活用、情報収集シート・コミュニケーションボードの活用、多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の普及等外国人来訪者等向けの救急・防災対応 東京2020大会会場周辺地域等において先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会の体験フィールドを構築
復興・オールジャパン・世界への発信	<ul style="list-style-type: none"> 都立高校において、被災地を訪問し、復興支援ボランティアや現地での交流活動を実施 東京2020参画プログラムを通じて、全国各地域でのレガシー創出に向けた取組を推進 年齢・性別・障害の有無等に関わらず、ボランティアとして東京2020大会に参加できる環境を整備 スポーツツーリズムの推進 東京の多彩な魅力を国内外に発信し、各地の隠れた「個性」をブランド化

○取組方針の3つの視点を踏まえた5つのテーマに沿って、大会の準備段階から開催後にわたり長期的・継続的にオリンピック・パラリンピック競技大会、ラグビーワールドカップにより享受できる有形・無形のレガシーを創出し、まちづくり全体への効果を目指す。

< 2019年・2020年に向けた取組の検討のポイント >



(取組例)

- ◆講演会・展示等⇒オリンピック・パラリンピアン、ラグビー選手の活用
- ◆芸術文化・スポーツ事業等
⇒ボッチャ教室、タグラグビー教室・大会、車いす体験、五輪映画・音楽、アールブリュットなど
- ◆各種イベントにおける子ども・障害者・高齢者・外国人への配慮（オリパラ教育、バリアフリー、多言語対応、ボランティアの確保育成、和文化を生かした企画など）
- ◆既存イベント等における機運醸成・連携（PRブース出展、物販、のぼり旗・パネル等の展示、PRグッズ・チラシ等、近隣市と連携したレンタサイクルによる回遊性向上など）

<レガシーとは>

○レガシー：国際オリンピック委員会（IOC）は、オリンピックが開催都市と開催国にもたらす長期的・持続的効果について「オリンピック・レガシー（遺産）」という概念を提唱

○2003年、オリンピック憲章において、レガシー（遺産）について明文化

⇒「オリンピック・パラリンピック競技大会の有益な遺産を、開催国と開催都市が引き継ぐよう奨励する」（オリンピック憲章第1章「オリンピック・ムーブメントとその活動」第2項「IOCの使命と役割」）


○オリンピック・レガシー（OLYMPIC LEGACY2013）

一般的に「スポーツレガシー」、「社会レガシー」、「環境レガシー」、「都市レガシー」、「経済レガシー」の5つの性質の分類と、その中で有形（tangible）と無形（intangible）に分類される。

取組テーマ① スポーツ・健康づくり

- スポーツを支えるボランティアや団体の確保・育成などを通じて、子どもから高齢者、障害者など、だれもがスポーツに参加できる機会の充実や環境づくりに取り組むとともに、障害者スポーツの推進に取り組む。
- 市民が主体的に取り組む運動や体操などを通じた生きがいづくりや、日常的な健康増進に向けた環境づくりを推進する。

<平成30年度主なアクション>

スポーツ		健康づくり
<p>○ スポーツイベント等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調布市民体育祭※・調布市民スポーツまつり※ ・調布市民駅伝競走大会※ ・東京調布ロードレース※ ・サウディアラビアンフットサル国際親善カップ ・ボッチャの推進 ・小・中学生バレーボール大会※ ・ニュースポーツの推進 ・調布フットサル大会※ ・プロサッカーチームによる地域貢献活動支援 ・小学生ドッチビー大会 ・近隣市と連携したラグビーフェスティバルの開催（府中市・三鷹市との連携事業） ★オリ・パラ会場等での各種大会との連携（武蔵野の森総合スポーツプラザほか） 	<p>○ ラグビーに関する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生タグラグビー大会の開催 ・児童館・学童クラブにおけるタグラグビーの推進 ・まちなかラグビーの実施 <p>○スポーツを通じたオリンピック・パラリンピックの機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスリート交流事業・陸上体験教室 ★児童館におけるスポーツライミング体験 ・オリ・パラ競技を楽しもう（幼稚園・保育施設・すこやかでのイベント等における機運醸成） ★パブリックビューイングの実施（サッカーワールドカップロシア大会等） <p>○障害者スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ★障害児・者フットサル事業 ☆パラスポーツ体験事業 ☆障害者余暇活動支援事業（ほりでーらん） 	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュ体操スクール※ ☆受動喫煙防止対策事業（取組方針の策定及び方針に基づく取組の検討・実践） <p><調布まちなかラグビー></p>  <p>★は新規事業 ☆は拡充事業 ・は既存事業 ※は調布市体育協会との連携事業（体育協会主催事業を含む）</p>

【創出するレガシー】

- ◆子ども、高齢者、障害者などのだれもがスポーツに親しみ、楽しめる環境や機会の確保
- ◆パラリンピックを契機とした障害者への理解の深化
- ◆多摩地域における国際的なスポーツ拠点の形成
- ◆スポーツ等を通じた主体的な参加意識の向上と健康増進

取組テーマ② 産業・観光振興

- 会場周辺、深大寺周辺及び調布駅周辺の地域資源を磨き上げ、観光客に訪れてもらえるコンテンツを充実する。
- 観光ボランティア等の活用も視野に入れ、会場周辺、深大寺周辺及び調布駅周辺を重点に、回遊性向上に取り組み、市全体の活性化に貢献する。
- 商工会・観光協会、鉄道事業者、映画・映像関連企業をはじめとする市内企業など、多様な主体が連携した観光プロモーションを実施する。

<平成30年度主なアクション>

産業・観光振興

○ にぎわい創出・魅力発信

- ・駅前広場を活用したにぎわい創出に関する取組
- ・深大寺を会場とする“和”のおもてなしイベント※
- ・調布の魅力をめぐるウォークラリー※
- ・シネマコンプレックスと連携した「映画のまち調布」取組の推進
- ・映画のまち調布花火
- ・ゲゲゲ忍等、「水木マンガの生まれた街」関連イベント
- ★オリジナル婚姻届の作製

○ 環境整備

- ・Wi-Fi環境整備の推進
- ・多言語版観光マップの改訂
- ・多言語での観光情報の提供
- ☆インバウンド対策事業（外国人へのおもてなし）
- ☆花いっぱい運動の推進（ボランティア募集、育成講座実施等）

★は新規事業 ☆は拡充事業 ・は既存事業 ※は調布市観光協会との連携事業

<調布市観光マップ>



<多言語版観光マップ>




【創出するレガシー】

- ◆観光地としての調布市の知名度の向上（東京ブランドの一角を形成）
- ◆地域資源の魅力発信、観光ボランティア等によるおもてなしによる、国内観光客や訪日リピーター等の来街者の増加

取組テーマ③ まちづくり

- 武蔵野の森総合スポーツプラザと東京スタジアム、及び周辺地区において、国内外から多くの人々が訪れるスポーツ拠点としてのまちづくりを推進する。
- 駅周辺へのアクセスルート等、バリアフリー化された安全で快適な歩行者ネットワークを形成する。
- 周辺の商店街や地域コミュニティと連携し、スポーツ施設の特色を生かしてパブリックビューイングやビアガーデンなどのイベントへ多目的に活用する。

< 平成30年度主なアクション >

まちづくり		
○ 安全・安心なまちづくり, 福祉のまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・施設のバリアフリー化の推進（地域福祉センター、避難所（小・中学校体育館）など） ・防犯活動の推進（街頭防犯カメラ設置支援、防犯パトロール、通学路の安全確保（防犯カメラ設置）） ☆障害者余暇活動支援事業（ほりでーぷらん）【再掲取組テーマ①】	○ 競技会場周辺の環境整備	
	<ハード> <ul style="list-style-type: none"> ☆ユニバーサルデザインに対応したトイレの改修（深大寺、飛田給、つつじヶ丘） ☆飛田給駅周辺における歩行者の安全確保に向けた取組（踏切対策） ☆歩道橋改修（スタジアム前歩道橋補修工事） ★飛田給公共通路補修工事 ☆人と環境にやさしい道路整備（スタジアム通り、品川通り改修工事等） ☆自転車推奨ルートの整備 	<ソフト> <ul style="list-style-type: none"> ☆受動喫煙防止対策事業【再掲 取組テーマ①】 ・喫煙マナーアップパトロールによる都市美化の推進 ☆多摩川、野川、調布駅前クリーン作戦 ・多言語を含む公共サイン整備のための計画検討・実施 ・都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト
<武蔵野の森総合スポーツプラザ（平成29年11月25日オープン）> 	★は新規事業 ☆は拡充事業 ・は既存事業	

【創出するレガシー】



- ◆多摩地域における国際的なスポーツ拠点の形成（再掲） ◆京王線の地下化に連動した21世紀の調布の街の骨格形成
- ◆地域の特性を生かした環境負荷の少ない持続可能で魅力的な都市空間の形成
- ◆景観まちづくりの取組による街並み景観の向上
- ◆外国人を含む利用者の視点に立った、分かりやすく親しみやすい公共サイン整備による回遊性の向上
- ◆ユニバーサルデザインの考えに基づく福祉のまちづくりの推進

第2章 5つのテーマとレガシー創出に向けた取組

取組テーマ④ 文化・国際交流・平和

○文化・国際交流・平和に関連する市内既存の活動を、東京2020参画プログラム、東京2020文化オリンピックアードや beyond 2020プログラム等に連動させながら、大会終了後も継続できる魅力度の高い取組を推進する。

<平成30年度主なアクション>

文化・国際交流		平和・人権
<p>○ 文化イベント等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たづくりアスリートワンダーウォール※1 ・リユース素材を活用した展示※1 ☆和の伝統文化等を学ぶ市民講座※1 ☆日本の伝統芸能公演の実施（ワークショップ付能楽等公演）※1 ・調布国際音楽祭※1，調布よさこい※1，調布市民文化祭※1<連動性のあるプログラム展開> ・東京1964オリンピック関連資料展 ☆映画のまち調布 シネマフェスティバル※1 ☆障害者アート展事業 ☆基金を活用した芸術・文化，スポーツ活動支援 	<p>○ ホストタウン・サウジアラビア交流事業</p> <p>■調布市民対象とした事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ★サウジアラビアデーの実施（市民団体・大使館等との連携による交流イベントの開催） ・アラビア文化展，講演会 ★アラビア語語学講座 ・アラブ イスラーム学院訪問 <p>■サウジアラビア留学生を対象とした事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウディアラビアンフットサル国際親善カップ【再掲 取組テーマ①】 ・市民文化祭（文化祭プラザ）への参加 ・和文化体験 ・花火交流 	<p>★人権教育・啓発促進事業（オリンピックと人権<多文化共生>）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年の人権メッセージ発表会開催に向けた準備 ・多文化共生をテーマとした人権啓発事業 ・「子ども条例」普及啓発事業 <p><たづくりアスリートワンダーウォール></p>  <p><東京1964オリンピックの資料展></p> 
<p>○ 国際交流・国際理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生英語体験事業※2 ・外国人おもてなし語学ボランティア講座※2 ☆語学ボランティア・フォローアップ研修事業※2 ・児童館における異文化交流 ・幼稚園・保育施設における世界の国々を学ぶ取組 		
<p>★は新規事業 ☆は拡充事業 ・は既存事業 ※1は調布市文化・コミュニティ振興財団との連携事業 ※2は調布市国際交流協会との連携事業</p>		

【創出するレガシー】

- ◆誰もが芸術文化に親しみ楽しめる環境
- ◆文化プログラム等と連動した取組の継続
- ◆日本の伝統や文化，参加国・地域の文化や言語，共生や平和の理念などに関する生涯学習の推進

取組テーマ⑤ 教育・青少年の健全育成

○小・中学校のオリンピック・パラリンピック教育推進校による取組や、多様な交流活動を通じて、ボランティアマインド、障害者理解、豊かな国際感覚を重点的に育成する。

<平成30年度主なアクション>

教育・青少年の健全育成

○ 調布市におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進

- 1 調布市におけるオリンピック・パラリンピック教育のねらい ～育成したい子ども像～
 - (1)子どもたちの自己実現を促し、これからの共生社会や国際社会を担う資質・能力を育てる。
 - (2)日本人としての自覚と誇りを身に付け、日本のよさを世界へ示す意欲と力を育てる。
 - (3)スポーツや文化が、平和な社会の実現と持続可能な社会づくりに貢献できることを理解し、進んで社会貢献する力を育てる。

2 オリンピック・パラリンピック教育の3つの視点

- 「すべての子どもに参加の機会を！」（競技の観戦や大会関連ボランティアなど）
- 「子どもの未来につながる学習を！」○「体験・交流活動を重視した学習を！」

3 オリンピック・パラリンピック教育の具体的な取組

- (1)年間35時間程度の教育活動への位置付け
 - ・「4×4の取組」（4つのテーマと4つのアクションを組み合わせた多彩な取組）
 - ・調布市で実施される5競技について学習計画を位置付け、実施する。
 - ・東京外国語大学と連携しながら、留学生との交流を進めていく。
- (2)世界ともだちプロジェクトの推進（サウジアラビアなど大会参加予定国・地域の学習と交流）
- (3)タグラグビーの取組（小学校体育授業の取組、小学生タグラグビー大会の実施）

(4)東京駅伝

4 図書館・郷土博物館・実篤記念館における取組の推進

★は新規事業 ☆は拡充事業 ・は既存事業

○ 青少年の健全育成

- ・青少年健全育成地区親善ソフトボール大会
- ・児童館交流サッカー大会
- ・児童館まつり
- ・学童クラブ交流ドッチビー大会

<三菱電機Going Upキャンペーン全国キャラバン(車いすバスケットボール)>



【創出するレガシー】

- ◆ボランティアマインドの定着
- ◆パラリンピックを契機とした障害者への理解の深化（再掲）
- ◆豊かな国際感覚の醸成

◆レガシー創出を意識した取組の強化

- ボランティアの組織化（確保に向けた育成・支援）
- パラリンピックを契機とした障害者理解の促進
- インバウンド対策の推進（ハラルフード等の食材に関する情報提供，在住外国人との連携による多言語案内の確認 など）
- ラストマイル※における円滑な大会運営の支援
※競技会場周辺の駅から競技会場入口（入場者のチケット等の確認を行うソフトチェックポイント）までの，観客が歩行するルート

◆開催年を意識した取組体制の構築

- 市内連携の強化，多様な主体（市民，関係団体，近隣市等）との連携・協働
- 節目を捉えたラグビー，オリンピック・パラリンピック関連イベントの企画・実施
- 各種イベントとの連携，参画プログラムを活用した機運醸成
- 「調布市応援アスリート」の応援，連携事業の実施検討
- 先行事例等を踏まえた取組の検討
- 東京都市オリンピック・パラリンピック連絡協議会等における情報共有・意見交換 など

附録 大会までのロードマップ

	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)	2021年度以降 (平成33年度以降)	
フェーズ	①リオ大会	②リオ大会後～2019ラグビーW杯・2020東京大会準備			③東京大会	④レガシー創出	
全体の動き	<p>(オリ・パラ) 8月-9月 リオ大会</p> <p>(ラグビー) 組合せ抽選会</p> <p>(ラグビー) 事前キャンプ地 選定プロセス発表</p> <p>●ラグビー日本代表戦 (対スコットランド/東京スタジアム)</p>	<p>2月 冬季オリ 平昌大会</p> <p>(ラグビー) 開幕1年前イベント</p> <p>(ラグビー) 試合日程発表, チケット概要発表・販売, ボランティア概要発表・募集</p>	<p>(ラグビー) 開幕1年前イベント</p>	<p>(ラグビー) 9-11月 ラグビーW杯</p> <p>●開会式・開幕戦</p> <p>(オリ・パラ) 各種プレ大会 テストイベント</p>	<p>(オリ・パラ) 7月-9月 東京大会</p> <p>●開会式</p>	大会後のレガシーの継承と活用	
大会準備	<p>会場の配置確定・施設建設・改修</p> <p>クライアント(顧客)・ファンクション(機能)・会場運営等の個別計画の作成(リオ後に改善)・運用</p> <p>大会準備(競技・放送サービス・エネルギー・セキュリティ・パラリンピックイングレーション・ブランド保護など)</p>						
機運醸成	<p>大会機運の醸成, 大会成功に向けた国内外の連携</p> <p>大会エンブレム発表</p> <p>大会マスコット発表</p> <p>チケット販売</p> <p>聖火リレールート発表</p> <p>聖火リレー</p> <p>ライブサイトの実施(都)</p> <p>フラッグツアの実施(都)</p>						
大会ボランティア	大会ボランティアの募集プロセス発表・採用・研修・活用						
アクション&レガシープラン	アクション&レガシープラン策定	アクション&レガシープランの改訂(毎年改訂予定)・各アクションの実施			レガシーレポート作成		
ホストタウン	ホストタウン登録本格化						
事前キャンプ	<p>国内事前キャンプ候補地ガイド掲載情報募集</p> <p>国内事前キャンプ候補地ガイド公表・更新</p> <p>国内事前キャンプについて各自自治体が直接交渉・合意・締結</p>						
都による市区町村支援	障害者スポーツ体験プログラム「NoLimits Challenge」などの機運醸成, 補助事業等による市区町村支援 等						
機運醸成	<p>機運醸成資機材の作成・活用, ボランティアの活用検討 (パネル展示・カウントダウン・ポスター・のぼり旗など)</p> <p>●ラグビーフェスティバル</p>						多摩地域と調布市におけるレガシーの継承と活用
レガシー創出	レガシー創出に向けた取組方針の策定・運用, 2020年に向けた調布市アクション&レガシープランの策定・運用						
レガシー創出	レガシー創出に向けた調査・検討	取組方針を踏まえたレガシー創出に向けた取組の推進 (スポーツ・健康, 産業・観光, まちづくり, 文化・国際交流(ホストタウン等)・平和, 教育・青少年の健全育成)					
近隣市等との連携	近隣市との意見交換・情報共有, 市内各団体等との意見交換・情報共有・連携						
その他の動き	(仮称)武蔵野の森 総合スポーツ施設竣工	調布駅前 複合商業施設竣工	電気通信大学100周年 キャンパス整備・運営				
	例年実施される主なイベント 調布映画祭, 児童青少年フェスティバル, 調布花火・調布よさこい 調布市民スポーツまつり, 調布市民文化祭, 調布市民駅伝競走大会・調布市福祉まつり など						

登録番号
(刊行物番号)

2017-285

2020年に向けた調布市アクション&レガシープラン2018

発行日 平成30年(2018年)3月

発行 調布市

編集 行政経営部政策企画課

〒182-8511 調布市小島町2-35-1

電話 042-481-7368~9(直通)

FAX 042-485-0741

本書は、古紙配合の再生紙を使用しています。



調布市